

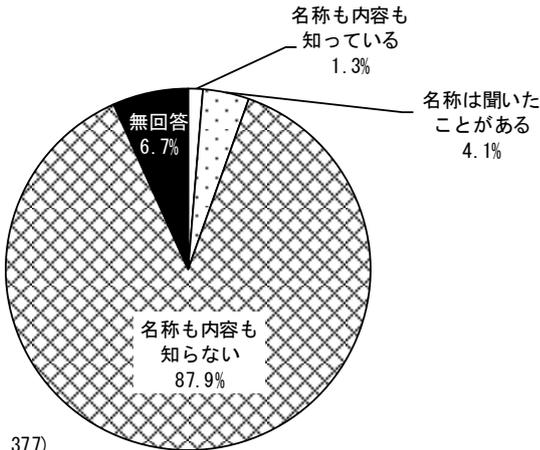
# 5 市民主体のまちづくりを推進する人材の育成について

問1 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」を知っていますか。(〇は1つ)



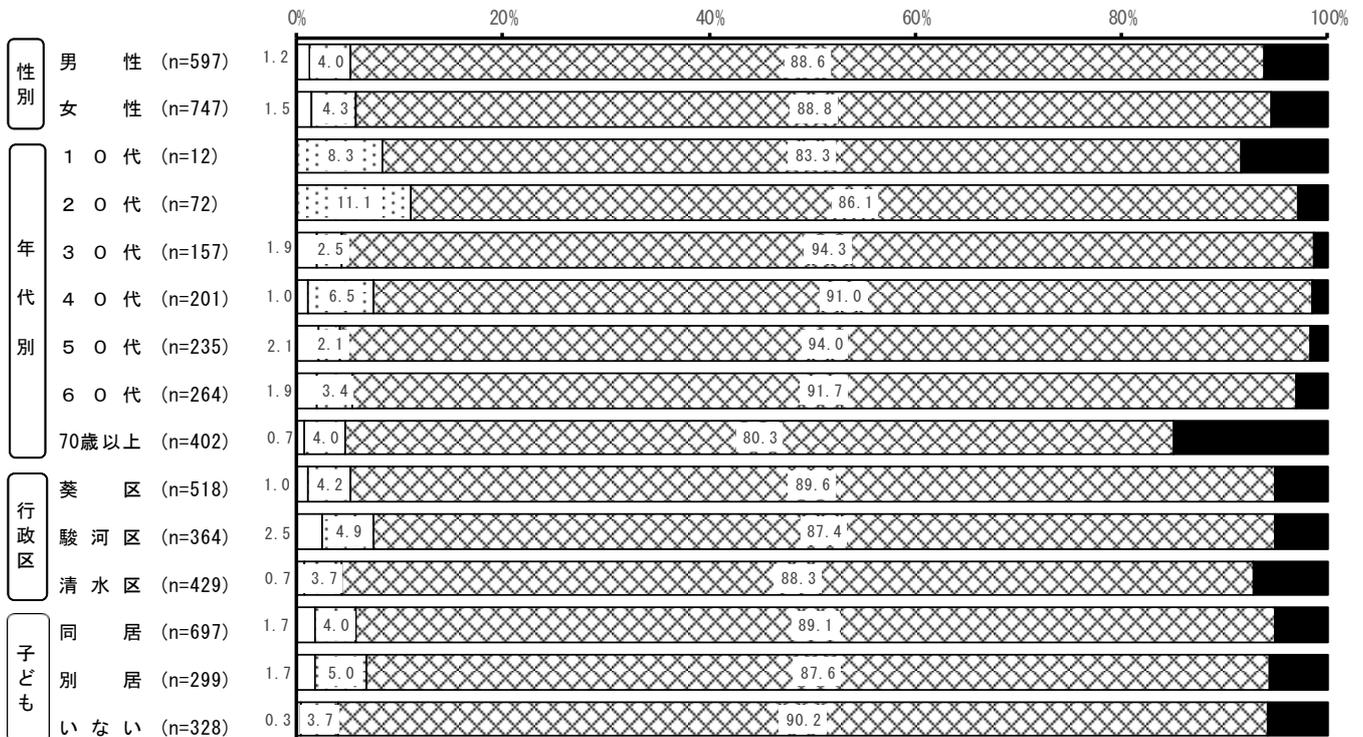
『静岡シチズンカレッジ こ・こ・に』を知っている市民は5.4%、  
知らない市民は87.9%

「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」  
市民と行政とが力をあわせてまちづくりを推進していくために、シチズンシップに富んだ人材を養成することを目的とした講座



(n=1,377)

- ◆『静岡シチズンカレッジ こ・こ・に』を知っている市民の割合は、「名称も内容も知っている」(1.3%)と「名称は聞いたことがある」(4.1%)を合わせた5.4%。一方、「名称も内容も知らない」市民の割合は87.9%で、『静岡シチズンカレッジ こ・こ・に』を知らない市民の方が多い。
- ◆年代別にみると、「名称も内容も知っている」と「名称は聞いたことがある」を合わせた割合は20代が11.1%と最も多く、他の年代は10%未満となっている。



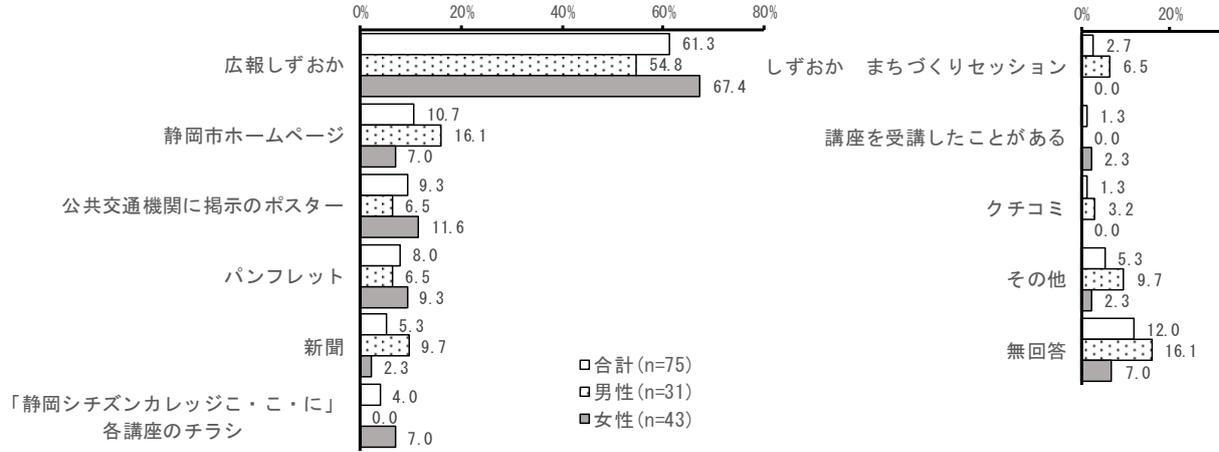
□名称も内容も知っている □名称は聞いたことがある □名称も内容も知らない ■無回答

無回答の数値は表記なし

<問1で「1 名称も内容も知っている 2 名称は聞いたことがある」と回答した方に伺います。>  
 問1-1 あなたは「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」をどのように知りましたか。(〇はいくつでも)



『静岡シチズンカレッジ こ・こ・に』を市民が知った方法は、「広報しずおか」61.3%



- ◆ 『静岡シチズンカレッジ こ・こ・に』を市民が知った方法は、「広報しずおか」で61.3%と最も多い。
- ◆ 性別にみると、知った方法で男性が女性より多いのは「静岡市ホームページ」(16.1%)、「新聞」(9.7%)、「しずおか まちづくりセッション」(6.5%)。女性は「広報しずおか」(67.4%)、「公共交通機関に掲示のポスター」(11.6%)、「『静岡シチズンカレッジこ・こ・に』各講座のチラシ」(7.0%)で、それぞれ5%以上多くなっている。

＜問1-1で「3 パンフレット」、「4 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」各講座のチラシ」と回答した方に伺います。＞

問1-2 パンフレットやチラシはどのような方法で入手しましたか。具体的にご記入ください。

年代-性別-居住地域	問1-1 “パンフレット”と“各講座チラシ”の両方で知った手順
50代-女性-城南地域	生涯学習センター

年代-性別-居住地域	問1-1 “パンフレット”で知った手順
50代-女性-城南地域	南部生涯学習センター
50代-女性-庵原地域	生涯学習交流館
60代-男性-豊田地域	自治会

年代-性別-居住地域	問1-1各講座チラシ”で知った手順
40代-女性-城北地域	会社からの参加案内

＜問1で「1 名称も内容も知っている 2 名称は聞いたことがある」と回答した方に伺います。＞  
問1-3 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の認知度をあげるためには、どのような取組をされるとよいと思いますか。ご意見があればご記入ください。

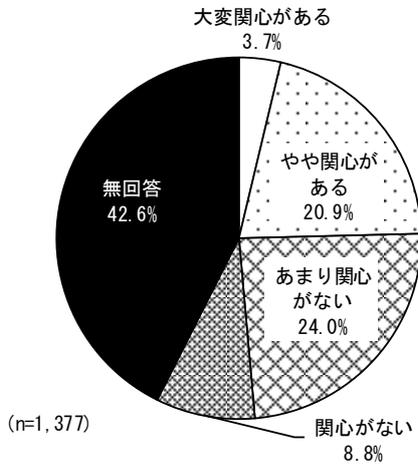
年代-性別-居住地域	問1「名称も内容も知っている」人が考える、認知度をあげるための取組方法
40代-女性-城北地域	もっと宣伝する。
50代-男性-城内地域	テレビでの内容公開。
50代-女性-城南地域	テレビで宣伝。
50代-女性-城南地域	大学でもチラシを置く。
50代-女性-庵原地域	講座の講師の選択。
70上-男性-城南地域	広報の充実。
70上-女性-城内地域	もう少しPRをする。

年代-性別-居住地域	問1「名称は聞いたところがある」人が考える、認知度をあげるための取組方法
10代-女性-大里地域	広報や回覧板などで宣伝する。
20代-男性-城南地域	SNSの有料広告の活用、テレビCM、ラジオCMの放送。
20代-男性-清水不明	CMを作る。
20代-女性-城南地域	SNS発信で若者が集まれる講座を開く。
20代-女性-城南地域	テレビ・SNSなどでの広報。
30代-女性-葵不明	テレビで特集してもらう。
40代-男性-城内地域	どんな取組でも継続させることが重要。
40代-男性-静岡山村	魅力的な講座、SNS等での発信。
40代-男性-駿河不明	受講するメリットをPRする。
40代-男性-庵原地域	生涯学習と絡めて盛り上げていく。
40代-女性-城東地域	ホームページや駅前でチラシを配る。
50代-女性-城北地域	テレビのニュース等で具体的な内容、取り組み等を取り上げてもらう。
50代-女性-庵原地域	広報。
50代-女性-庵原地域	市という大きな組織ではなく、自治体単位での活動とする。
60代-男性-城東地域	地域や社会で活動し、その結果が反映された事例を紹介する。
60代-男性-蒲原地域	テレビ、新聞の活用。
70上-男性-城内地域	市の職員が事業内容を熟知していることが必要。
70上-男性-城東地域	広報しずおかでもっと情報を流す。
70上-男性-城東地域	テレビで放送する。

問2 あなたは、「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の目的である、「市民と行政とが力をあわせてまちづくりを推進する」ことに関心がありますか。(〇は1つ)

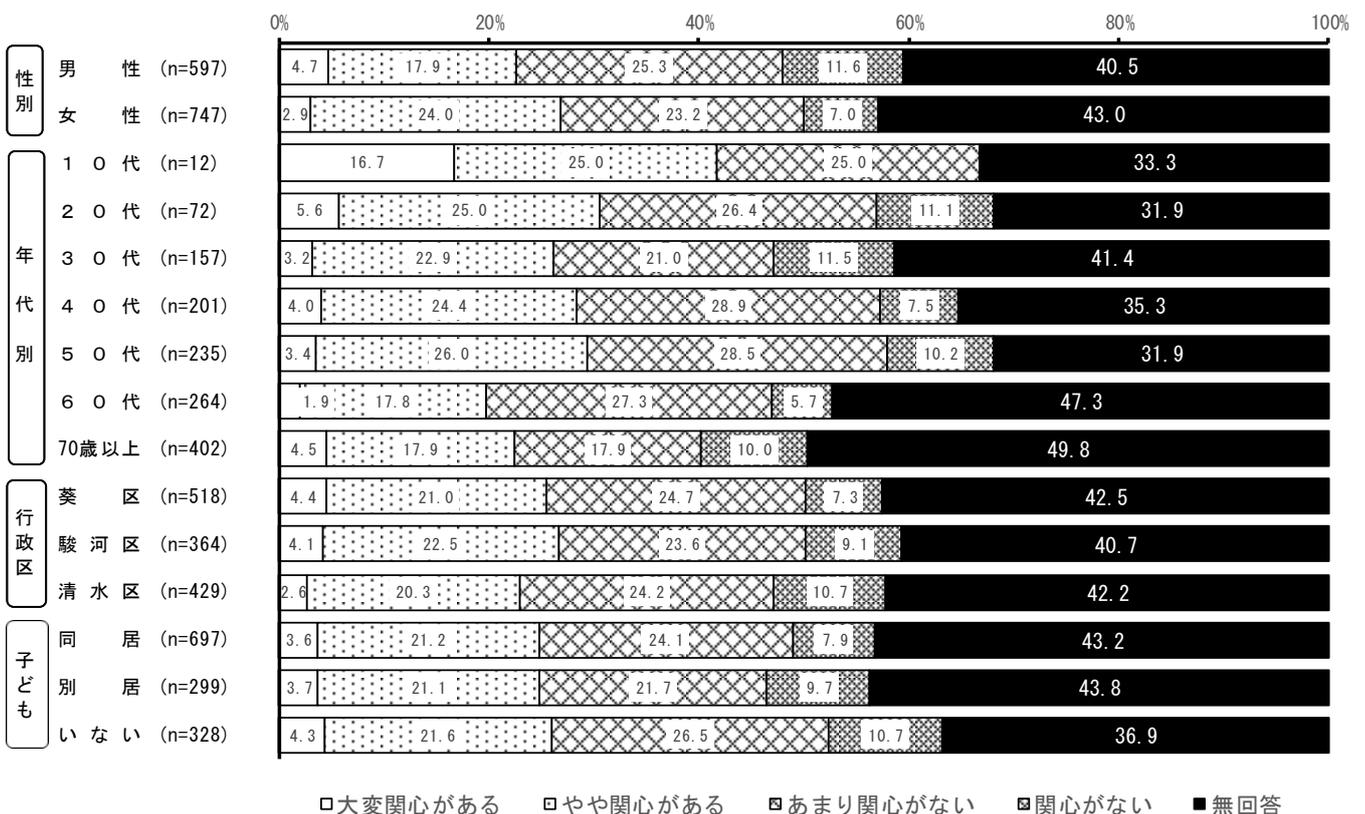


『静岡シチズンカレッジ こ・こ・に』の目的、「市民と行政とが力をあわせてまちづくりを推進する」ことに、関心のある市民は24.6%、関心のない市民は32.8%



◆『静岡シチズンカレッジ こ・こ・に』の目的、「市民と行政とが力をあわせてまちづくりを推進する」ことに、関心のある市民の割合は、「大変関心がある」(3.7%)と「やや関心がある」(20.9%)を合わせた24.6%。関心のない市民の割合は「関心がない」(8.8%)と「あまり関心がない」(24.0%)を合わせた32.8%で、関心のない市民の方が多い。

◆年代別にみると、関心のある市民の割合は10代が41.7%と最も多く、他の年代は20%台前後となっている。

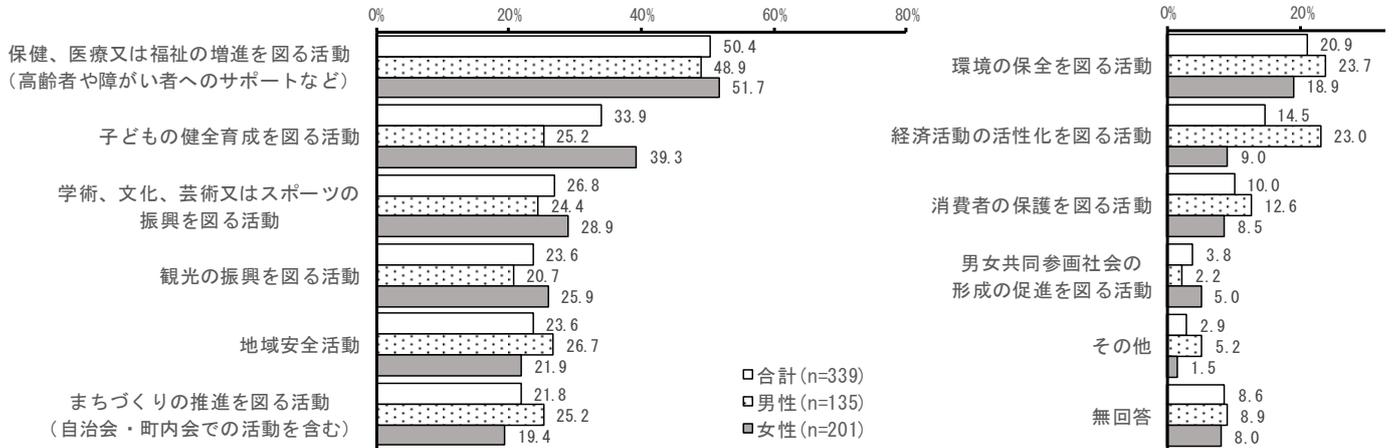


<問2で「1 大変関心がある」「2 やや関心がある」と回答した方に伺います。>

問2-1 あなたは、どのようなまちづくりの活動に関心がありますか。(〇は3つまで)

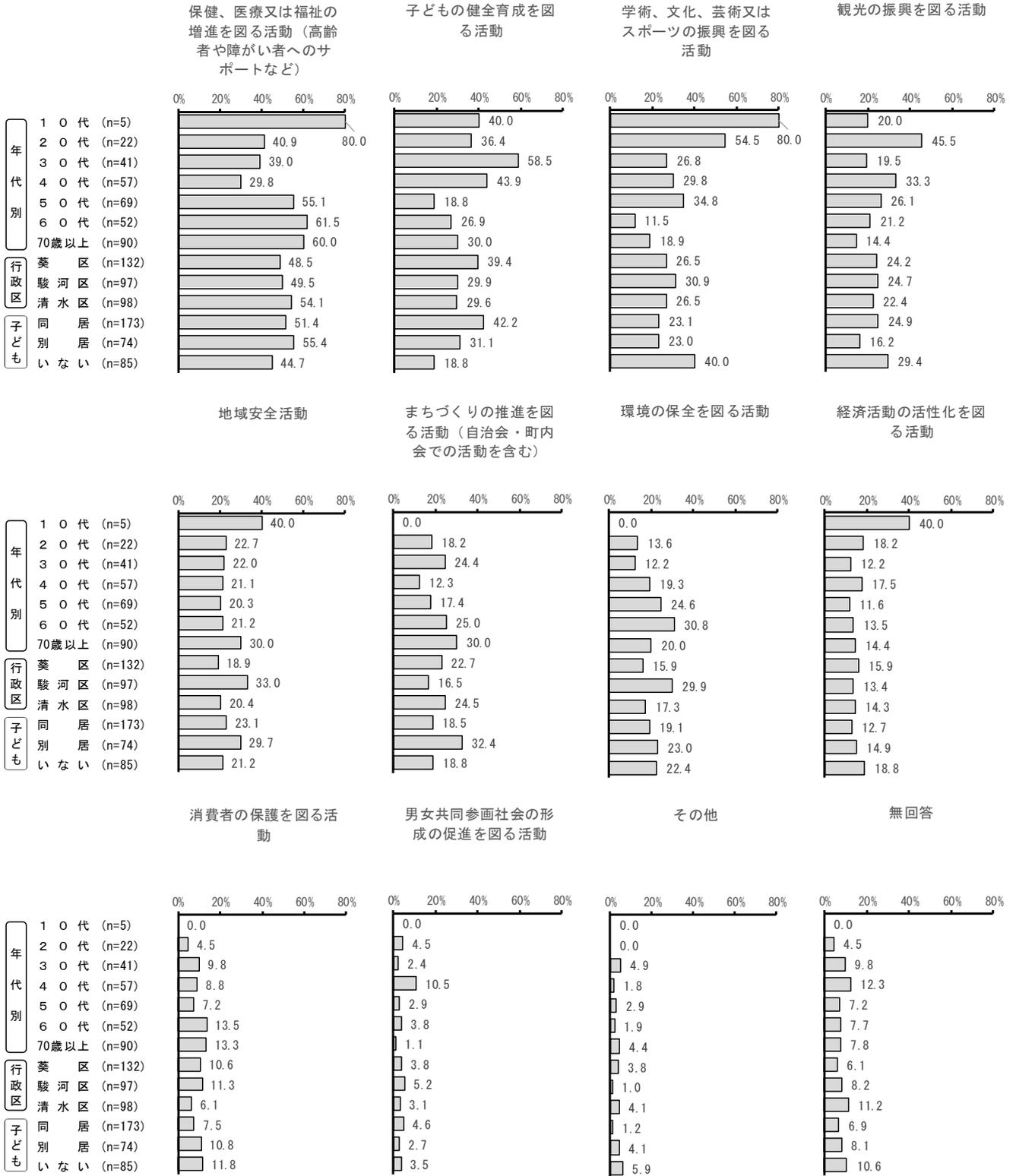


市民が関心のあるまちづくり活動は、「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」50.4%、「子どもの健全育成を図る活動」33.9%



- ◆市民が関心のあるまちづくり活動は、「保健、医療又は福祉の増進を図る活動（高齢者や障がい者へのサポートなど）」が50.4%と最も多い。以下、「子どもの健全育成を図る活動」（33.9%）、「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」（26.8%）の順となっている。
- ◆性別にみると、まちづくり活動で男性が女性より関心が高いのは「まちづくりの推進を図る活動（自治会・町内会での活動を含む）」（25.2%）、「経済活動の活性化を図る活動」（23.0%）。女性に多いのは「子どもの健全育成を図る活動」（39.3%）、「観光の振興を図る活動」（25.9%）で、それぞれ5%以上多くなっている。
- ◆行政区別にみると、葵区は「子どもの健全育成を図る活動」が39.4%と他の区より10%程度多い。駿河区は「地域安全活動」（33.0%）と「環境の保全を図る活動」（29.9%）が他の区より10%以上多く、逆に「まちづくりの推進を図る活動（自治会・町内会での活動を含む）」は16.5%と葵区や清水区より6%以上少ない。
- ◆子どもとの同居状況別にみると、「同居している」は「子どもの健全育成を図る活動」が42.2%と他の層に比べ11%以上多い。「別居している」は「地域安全活動」（29.7%）と「まちづくりの推進を図る活動（自治会・町内会での活動を含む）」（32.4%）が6%以上多く、「観光の振興を図る活動」（16.2%）は8%以上少ない。「子どもはいない」は「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」が40.0%と他の層に比べ16%以上多く、「保健、医療又は福祉の増進を図る活動（高齢者や障がい者へのサポートなど）」（44.7%）、「子どもの健全育成を図る活動」（18.8%）は6%以上少ない。

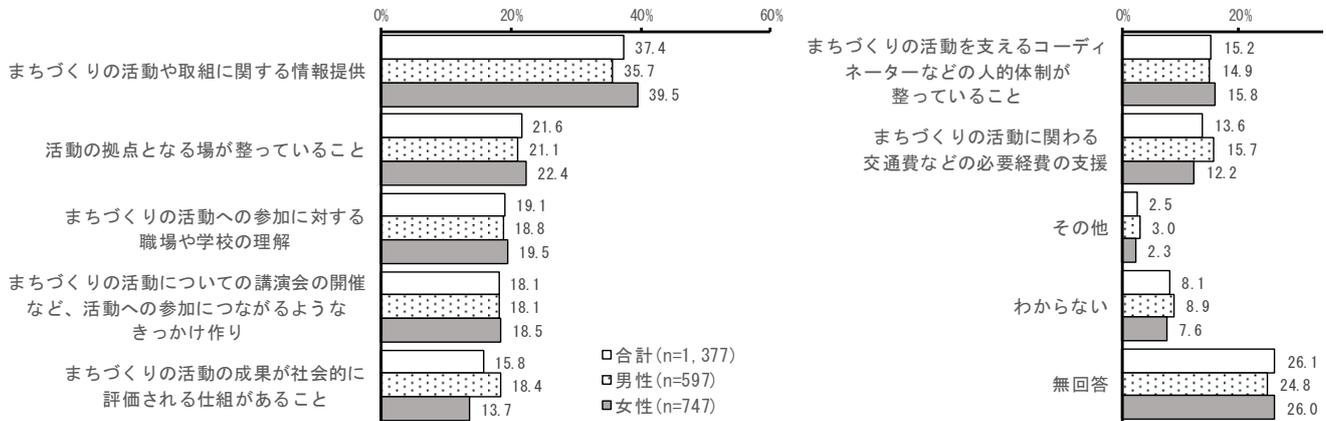
5 市民主体のまちづくりを推進する人材の育成について



問3 多くの人がまちづくりに参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

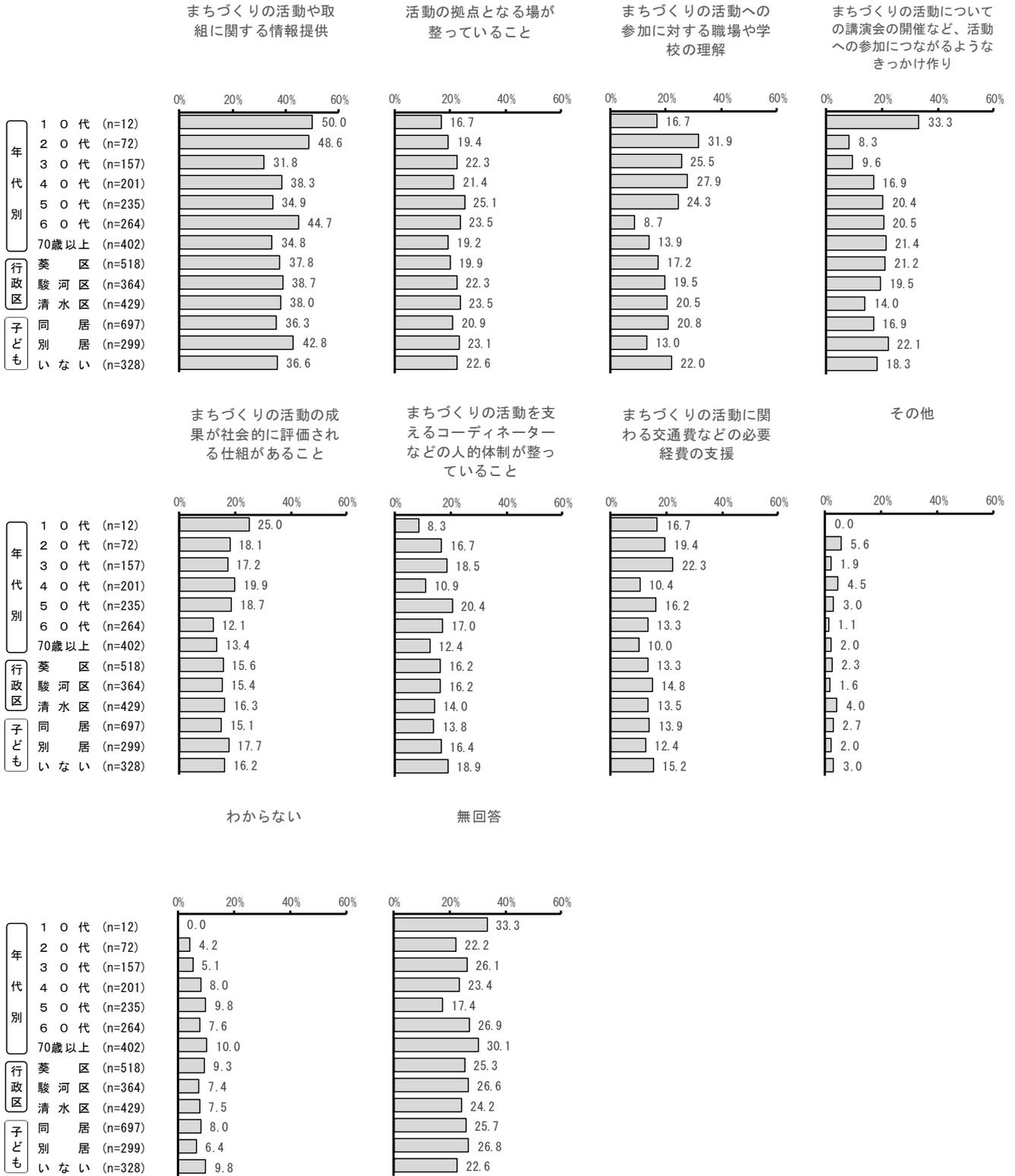


多くの人がまちづくりに参加するようになるために必要だと市民が考えていることは「まちづくりの活動や取組に関する情報提供」が37.4%



- ◆多くの人がまちづくりに参加するようになるために必要だと市民が考えていることは、「まちづくりの活動や取組に関する情報提供」が37.4%と最も多い。以下、「活動の拠点となる場が整っていること」が21.6%となるが、10%台前後で分散している。
- ◆年代別にみると、「まちづくりの活動や取組に関する情報提供」は10代(50.0%)、20代(48.6%)、60代(44.7%)は40%を上回り、他の年代は30%台となっている。「まちづくりの活動への参加に対する職場や学校の理解」は60代が8.7%と他の年代に比べ5%以上少ない。「まちづくりの活動についての講演会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り」は20代(8.3%)と30代(9.6%)は10%を下回って少ない。
- ◆行政区別にみると、清水区は「まちづくりの活動についての講演会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り」が14.0%と葵区や駿河区より5%以上少ない。
- ◆子どもとの同居状況別にみると、「別居している」は「まちづくりの活動や取組に関する情報提供」(42.8%)は他の層に比べ6%以上多く、逆に「まちづくりの活動への参加に対する職場や学校の理解」(13.0%)は7%以上少ない。

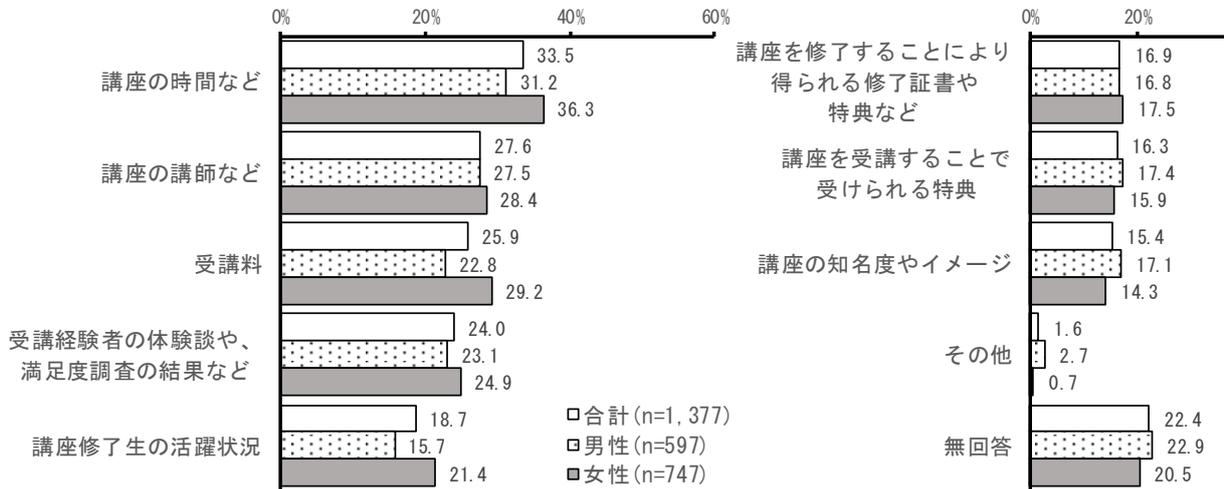
5 市民主体のまちづくりを推進する人材の育成について



問4 受講を検討している講座などの情報収集を行う際、どのような情報を重視しますか。(〇は3つまで)



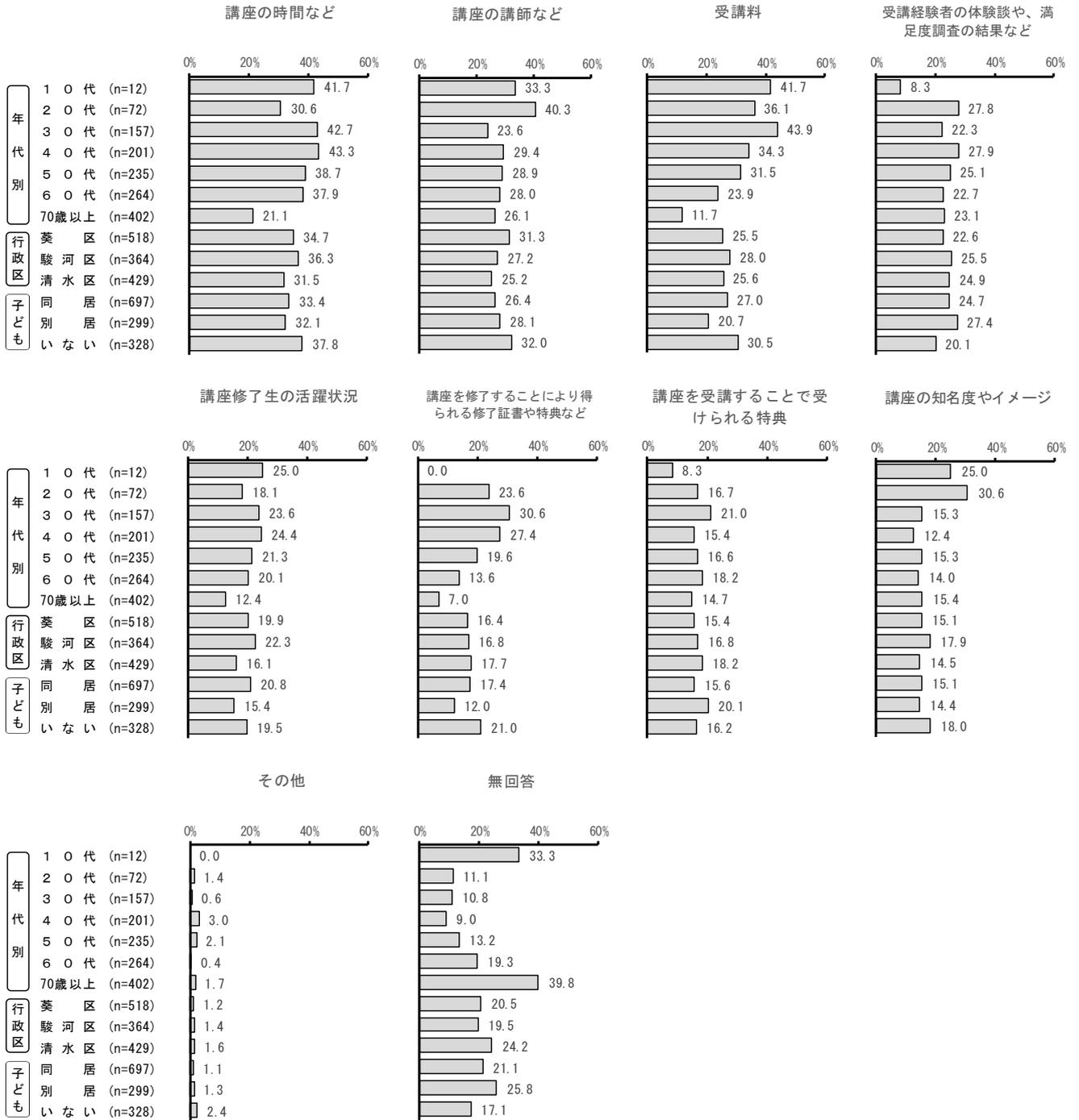
受講を検討している講座などの情報収集を行う際に市民が重視する情報は、「講座の時間など」33.5%、「講座の講師など」27.6%、「受講料」25.9%、「受講経験者の体験談や、満足度調査の結果など」24.0%



講座を受講することで受けられる特典（関連講座の情報が得られる・他の講座を見学できるなど）

- ◆受講を検討している講座などの情報収集を行う際に市民が重視する情報は、「講座の時間など」が33.5%と最も多い。以下、「講座の講師など」(27.6%)、「受講料」(25.9%)、「受講経験者の体験談や、満足度調査の結果など」(24.0%)となるが、重視する情報は15%までの値で分散している。
- ◆性別にみると、女性は「講座の時間など」(36.3%)、「受講料」(29.2%)、「講座修了生の活躍状況」(21.4%)が男性に比べ5%以上多い。
- ◆年代別にみると、「講座の時間など」は20代(30.6%)と70歳以上(21.1%)は他の年代に比べ少ない。「講座の講師など」は20代で40.3%と多く、他の年代は20%台となっている。「受講料」は60代以上は25%を下回り少ない。
- ◆子どもとの同居状況別にみると、「別居している」は「受講料」が20.7%と他の層に比べ6%以上少ない。

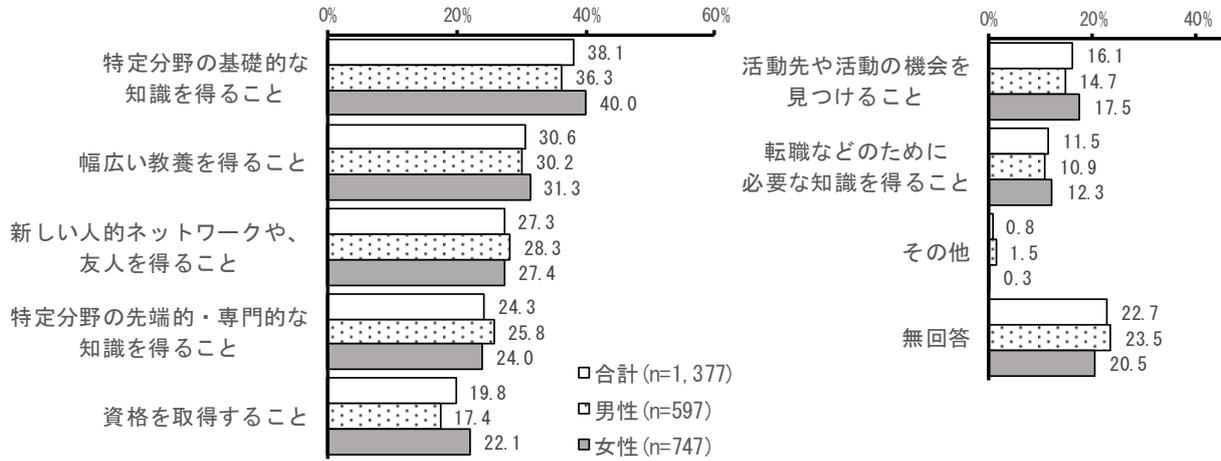
5 市民主体のまちづくりを推進する人材の育成について



問5 講座を受講することで、どのような成果を期待しますか。(〇は3つまで)

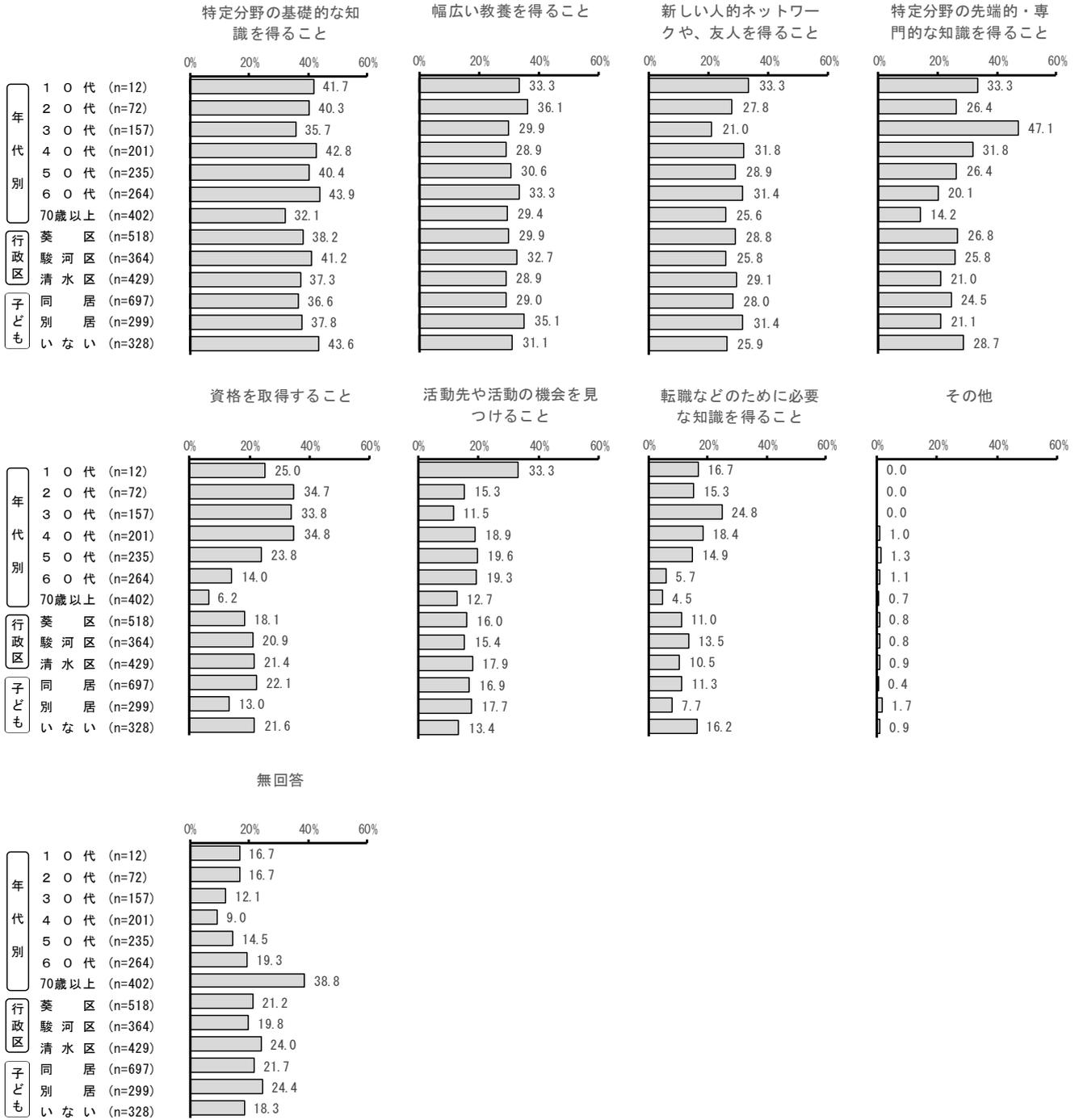


講座を受講することで市民が期待する成果は、「特定分野の基礎的な知識を得ること」38.1%、「幅広い教養を得ること」30.6%、「新しい人的ネットワークや、友人を得ること」27.3%



- ◆講座を受講することで市民が期待する成果は、「特定分野の基礎的な知識を得ること」が38.1%と最も多い。以下、「幅広い教養を得ること」(30.6%)、「新しい人的ネットワークや、友人を得ること」(27.3%)、「特定分野の先端的・専門的な知識を得ること」(24.3%)の順となっている。
- ◆年代別にみると、70歳以上は無回答の割合が多い。
- ◆子どもとの同居状況別にみると、「別居している」は「資格を取得すること」が13.0%と他の層に比べ8%以上少ない。「子どもはいない」は、「特定分野の基礎的な知識を得ること」が43.6%と他の層に比べ5%以上多くなっている。

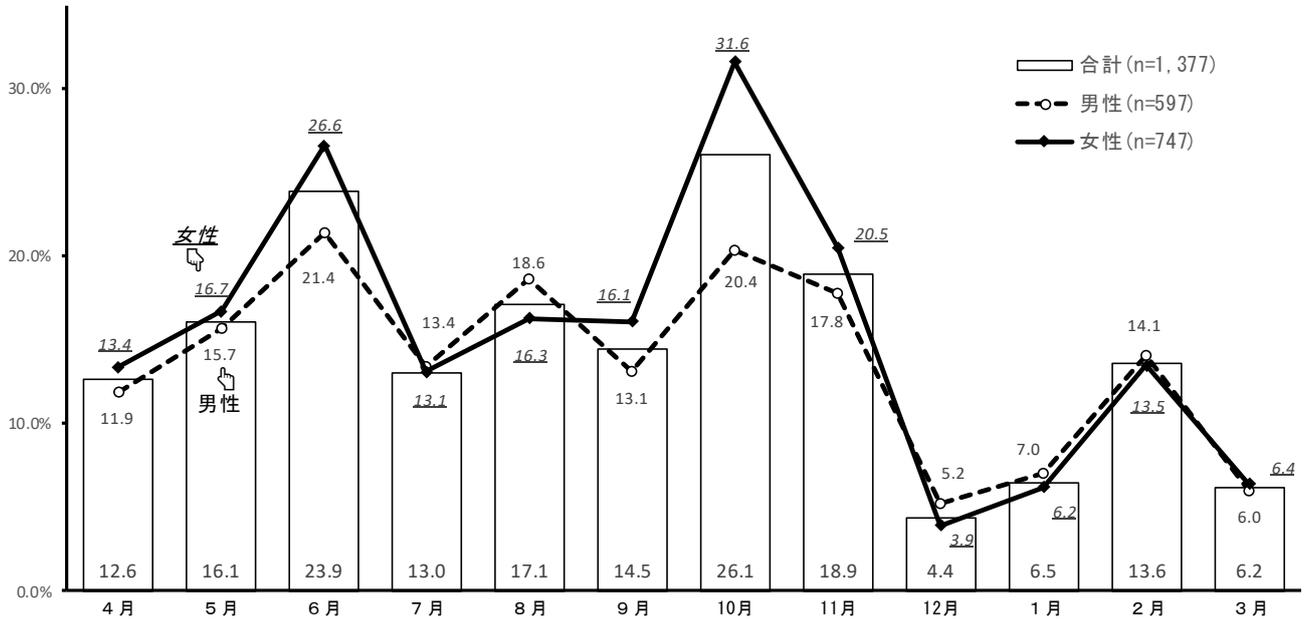
5 市民主体のまちづくりを推進する人材の育成について



問6 講座を受講しやすい月は、どの月ですか。(〇はいくつでも)

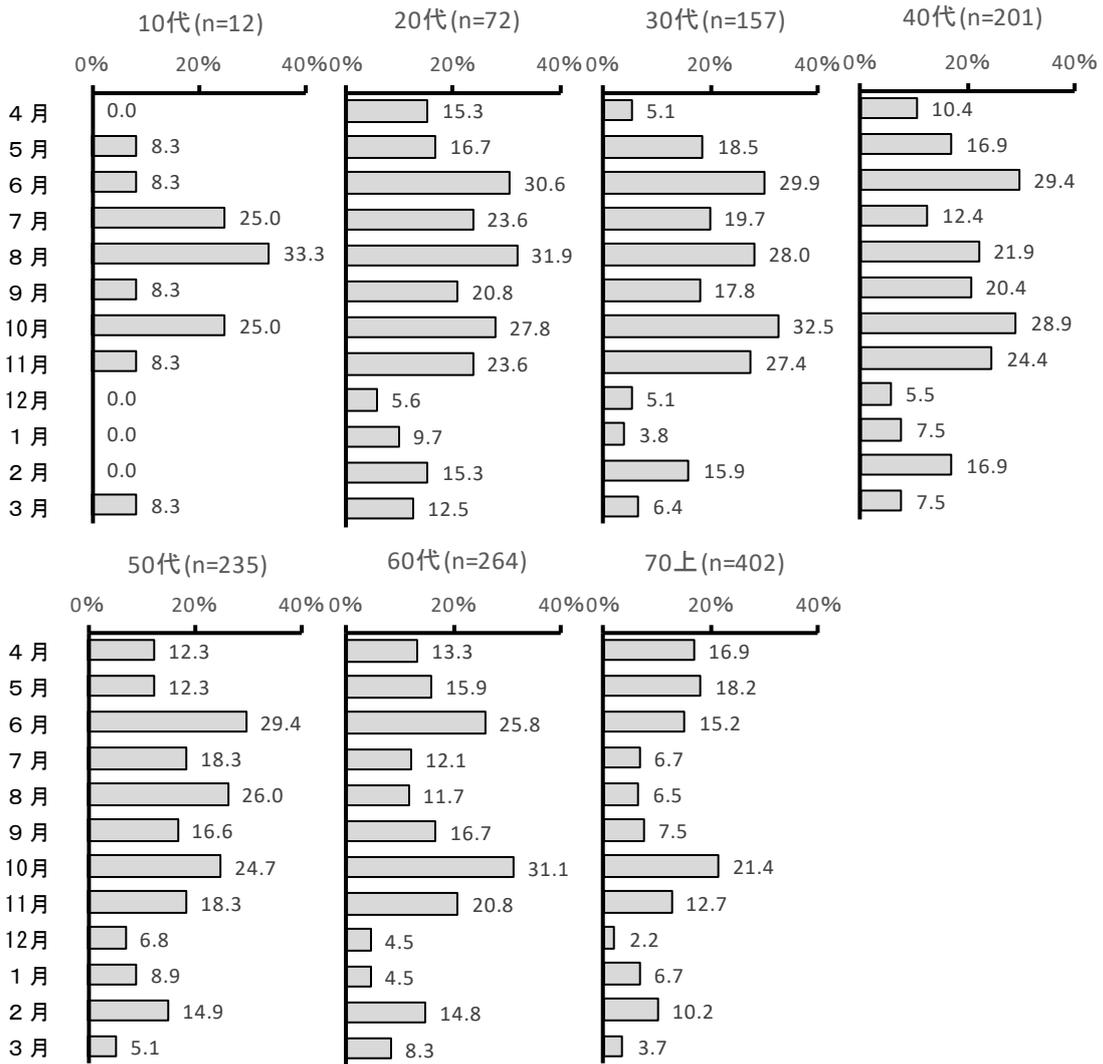


市民が講座を受講しやすい月は、10月(26.1%)と6月(23.9%)



- ◆市民が講座を受講しやすい月は、10月が26.1%と最も多い。続いて6月(23.9%)となる。一方、受講しにくい月は、12月が4.4%となり、1月(6.5%)、3月(6.2%)となっている。
- ◆性別にみると、女性は10月が31.6%と男性(20.4%)より11%、6月は26.6%と男性(21.4%)より5%多くなっている。

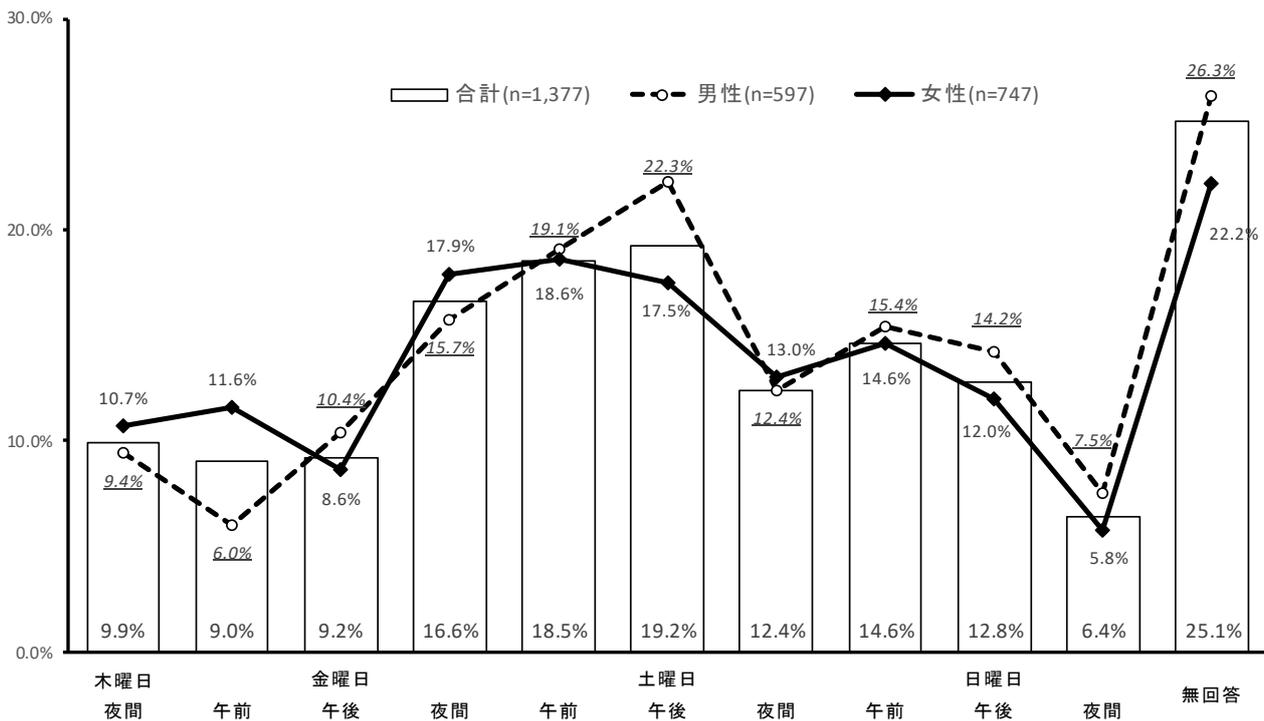
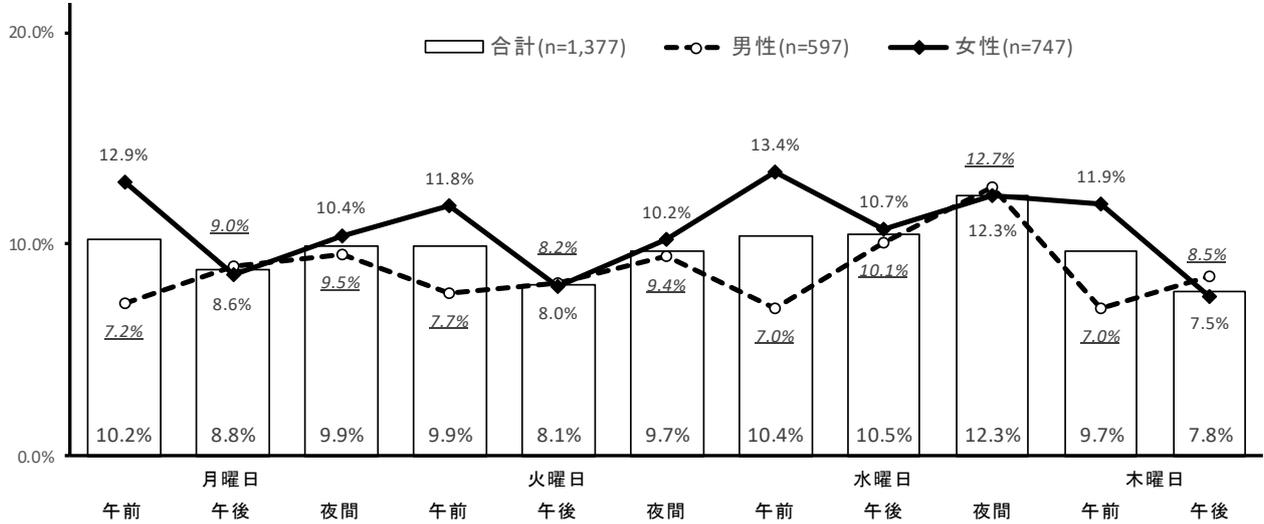
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合	計 (n=1,377)	12.6	16.1	23.9	13.0	17.1	14.5	26.1	18.9	4.4	6.5	13.6	6.2
性	男 性 (n=597)	11.9	15.7	21.4	13.4	18.6	13.1	20.4	17.8	5.2	7.0	14.1	6.0
	女 性 (n=747)	13.4	16.7	26.6	13.1	16.3	16.1	31.6	20.5	3.9	6.2	13.5	6.4
年	10代 (n=12)	-	8.3	8.3	25.0	33.3	8.3	25.0	8.3	-	-	-	8.3
	20代 (n=72)	15.3	16.7	30.6	23.6	31.9	20.8	27.8	23.6	5.6	9.7	15.3	12.5
	30代 (n=157)	5.1	18.5	29.9	19.7	28.0	17.8	32.5	27.4	5.1	3.8	15.9	6.4
	40代 (n=201)	10.4	16.9	29.4	12.4	21.9	20.4	28.9	24.4	5.5	7.5	16.9	7.5
	50代 (n=235)	12.3	12.3	29.4	18.3	26.0	16.6	24.7	18.3	6.8	8.9	14.9	5.1
	60代 (n=264)	13.3	15.9	25.8	12.1	11.7	16.7	31.1	20.8	4.5	4.5	14.8	8.3
	70歳以上 (n=402)	16.9	18.2	15.2	6.7	6.5	7.5	21.4	12.7	2.2	6.7	10.2	3.7
行政	葵 区 (n=518)	10.4	17.0	27.6	12.2	17.6	17.4	29.3	21.8	4.2	7.1	14.1	6.2
	駿 河 区 (n=364)	13.5	14.6	22.8	17.6	18.4	14.3	26.1	20.6	4.4	7.7	12.6	6.3
	清 水 区 (n=429)	15.2	17.2	22.6	11.0	15.4	11.4	24.7	15.6	4.7	4.4	14.5	6.1
子	同 居 (n=697)	12.5	16.4	24.8	13.8	18.2	15.8	26.1	21.4	5.0	6.6	15.1	7.2
	別 居 (n=299)	15.7	16.4	24.4	10.7	11.0	11.0	29.1	18.7	2.7	5.7	12.0	4.0
	い ない (n=328)	11.3	16.8	24.4	15.2	22.0	15.9	26.2	16.2	5.2	7.6	13.4	6.7



問7 講座を受講しやすい曜日と時間帯は。(〇はいくつでも)



市民が講座を受講しやすい曜日と時間帯は「土曜日の午後」19.2%、「土曜日の午後」19.2%が多く、「日曜日の夜間」は6.4%と最も少ない。  
平日はいずれの時間帯も10%前後となっている。



◆市民が講座を受講しやすい曜日と時間帯は、「金曜日の夜間」(16.6%)から「平日の午前」(18.5%)と多くなり、「土曜日の午後」が19.2%と最も多い。月曜日から金曜の午後までの間は1割台前半と少なく、「日曜日の夜間」は6.4%と最も少なくなっている。

◆性別にみると、「土曜日の午後」が22.3%と女性(17.5%)に比べ4%多くなっている。

5 市民主体のまちづくりを推進する人材の育成について

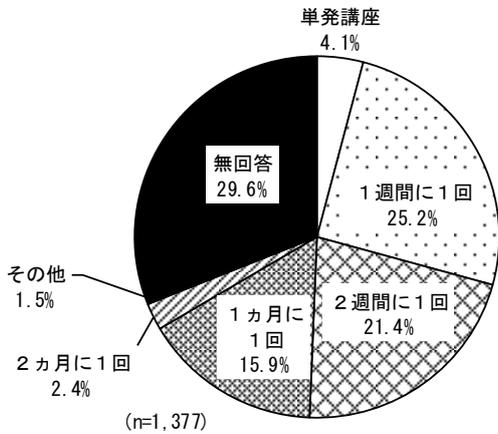
		調査数	月曜日の午前	月曜日の午後	月曜日の夜間	火曜日の午前	火曜日の午後	火曜日の夜間	水曜日の午前	水曜日の午後	水曜日の夜間	木曜日の午前	木曜日の午後
合 計		1,377	141 10.2%	121 8.8%	136 9.9%	136 9.9%	112 8.1%	133 9.7%	143 10.4%	144 10.5%	169 12.3%	133 9.7%	108 7.8%
性別	男 性	597	7.2%	9.0%	9.5%	7.7%	8.2%	9.4%	7.0%	10.1%	12.7%	7.0%	8.5%
	女 性	747	12.9%	8.6%	10.4%	11.8%	8.0%	10.2%	13.4%	10.7%	12.3%	11.9%	7.5%
年代別	10代	12	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
	20代	72	8.3%	6.9%	18.1%	1.4%	5.6%	18.1%	1.4%	8.3%	19.4%	1.4%	5.6%
	30代	157	10.8%	4.5%	12.7%	10.8%	7.6%	12.7%	12.7%	6.4%	14.6%	11.5%	5.7%
	40代	201	11.9%	7.5%	16.4%	10.4%	4.5%	15.9%	10.4%	3.5%	23.4%	10.9%	5.0%
	50代	235	8.9%	7.7%	15.3%	7.7%	4.3%	13.6%	9.8%	8.1%	18.7%	7.7%	5.1%
	60代	264	12.1%	11.0%	6.8%	14.0%	12.1%	8.3%	14.0%	15.5%	9.5%	12.5%	10.6%
	70歳以上	402	10.0%	11.2%	3.5%	10.2%	10.7%	3.0%	10.2%	14.4%	3.5%	10.0%	11.2%
行政区	葵 区	518	11.6%	8.7%	8.9%	10.4%	7.3%	8.1%	12.5%	10.6%	12.5%	10.8%	7.9%
	駿 河 区	364	10.7%	8.2%	11.5%	10.4%	8.5%	11.5%	10.4%	9.6%	12.1%	10.2%	8.2%
	清 水 区	429	8.9%	9.1%	9.3%	9.3%	8.6%	9.6%	8.6%	11.0%	12.1%	8.4%	7.5%
子ども	同居している	697	11.5%	8.9%	10.6%	12.1%	7.5%	9.8%	12.6%	9.8%	12.9%	12.3%	7.3%
	別居している	299	11.7%	11.7%	6.7%	9.7%	13.0%	9.0%	11.0%	15.7%	10.0%	9.4%	11.7%
	子どもはいない	328	7.6%	6.4%	12.2%	6.7%	5.5%	11.0%	6.7%	7.3%	14.3%	5.5%	6.1%

		調査数	木曜日の夜間	金曜日の午前	金曜日の午後	金曜日の夜間	土曜日の午前	土曜日の午後	土曜日の夜間	日曜日の午前	日曜日の午後	日曜日の夜間	無回答
合 計		1,377	137 9.9%	124 9.0%	127 9.2%	229 16.6%	255 18.5%	265 19.2%	171 12.4%	201 14.6%	176 12.8%	88 6.4%	346 25.1%
性別	男 性	597	9.4%	6.0%	10.4%	15.7%	19.1%	22.3%	12.4%	15.4%	14.2%	7.5%	26.3%
	女 性	747	10.7%	11.6%	8.6%	17.9%	18.6%	17.5%	13.0%	14.6%	12.0%	5.8%	22.2%
年代別	10代	12	16.7%	0.0%	8.3%	25.0%	41.7%	25.0%	25.0%	25.0%	8.3%	25.0%	25.0%
	20代	72	20.8%	4.2%	12.5%	36.1%	30.6%	37.5%	27.8%	29.2%	26.4%	13.9%	15.3%
	30代	157	13.4%	12.1%	4.5%	24.8%	36.9%	28.0%	22.3%	30.6%	24.2%	8.9%	9.6%
	40代	201	15.9%	8.5%	6.5%	25.9%	22.4%	25.4%	21.9%	22.9%	19.4%	13.9%	13.4%
	50代	235	15.7%	6.4%	8.1%	26.4%	23.4%	28.9%	14.0%	18.3%	15.3%	6.8%	14.9%
	60代	264	7.6%	11.7%	11.4%	10.6%	14.0%	15.2%	9.5%	9.8%	7.6%	3.8%	23.9%
	70歳以上	402	2.2%	9.7%	11.9%	4.5%	8.0%	7.7%	2.7%	3.2%	5.5%	1.7%	41.8%
行政区	葵 区	518	9.3%	9.3%	10.2%	16.0%	20.7%	19.5%	11.0%	17.2%	13.7%	6.4%	22.4%
	駿 河 区	364	11.0%	10.7%	8.2%	18.1%	18.4%	24.5%	15.7%	14.6%	15.7%	6.6%	23.1%
	清 水 区	429	9.6%	7.7%	8.9%	16.6%	17.0%	16.1%	11.9%	12.6%	10.0%	6.3%	25.2%
子ども	同居している	697	9.2%	10.8%	8.3%	16.9%	18.5%	17.5%	13.9%	15.6%	12.2%	7.3%	23.4%
	別居している	299	9.0%	9.7%	12.4%	9.4%	15.1%	15.4%	5.4%	9.4%	8.0%	3.0%	27.4%
	子どもはいない	328	13.4%	5.8%	9.1%	24.7%	24.1%	28.7%	17.4%	18.3%	19.5%	8.5%	20.4%

問8 受講がしやすい講座の受講頻度、1講座の終了までの受講回数をお答えください。(〇はひとつ)

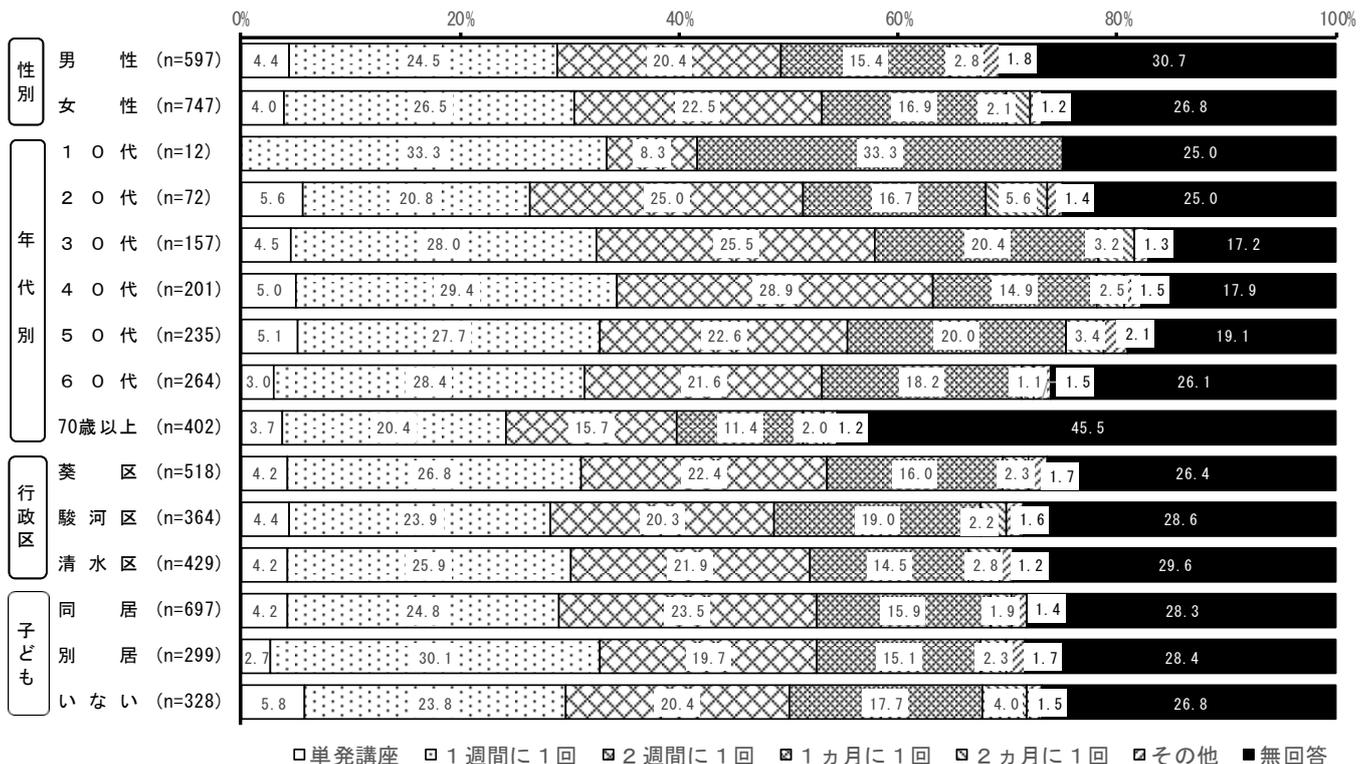


市民が受講がしやすい講座の受講頻度は「1週間に1回」が25.2%、「2週間に1回」が21.4%



※1講座の受講回数について「1回」と答えた回答は頻度に関わらず「単発講座」としてまとめた。

- ◆市民が受講がしやすい講座の受講頻度は、「1週間に1回」が25.2%と最も多い。以下、「2週間に1回」(21.4%)、「1か月に1回」(15.9%)となっている。
- ◆子どもとの同居状況別にみると、「1週間に1回」の頻度は「別居している」が30.1%と「同居している」(24.8%)、「子どもはいない」(23.8%)に比べ5%以上多くなっている。



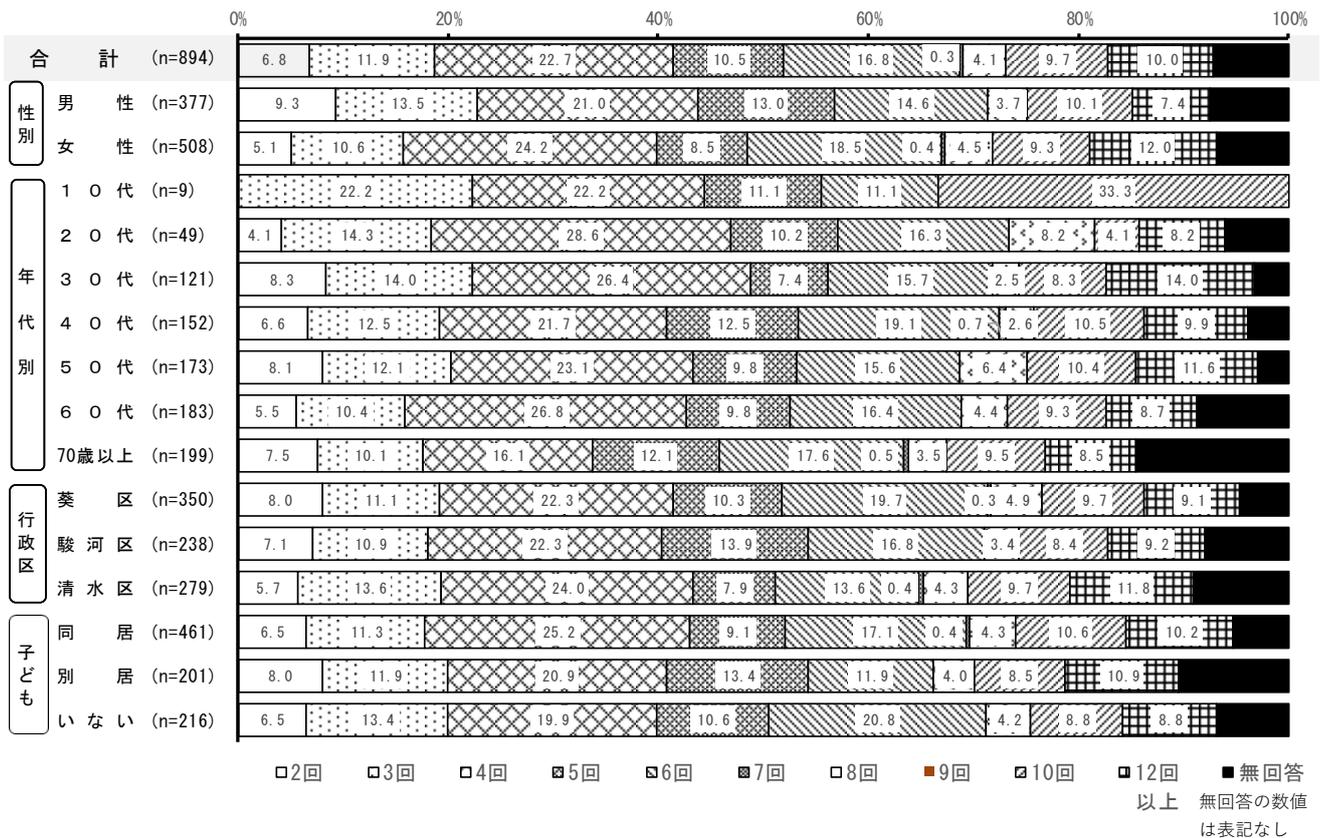
【1講座の終了までの受講回数】



市民が受講がしやすい講座の開催回数は「4回」が22.7%、「6回」が16.8%

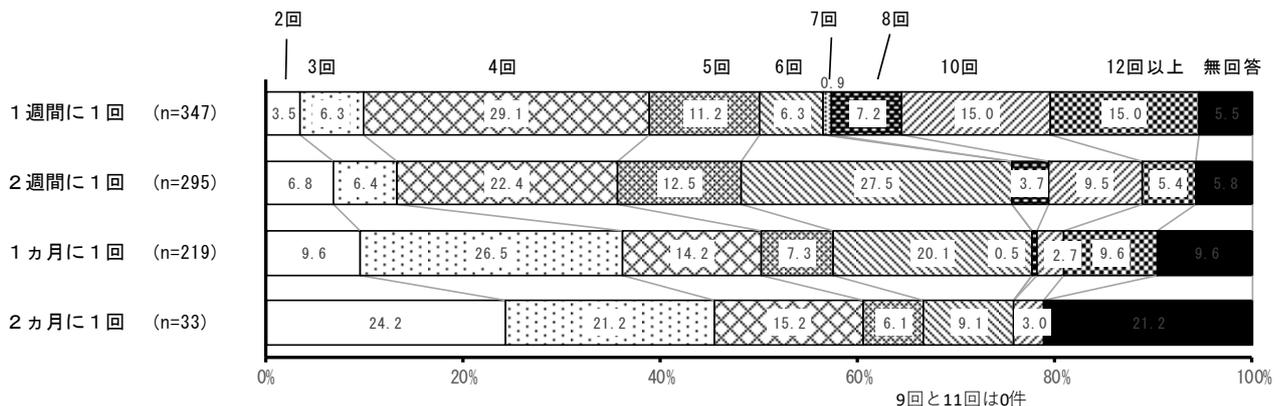
※1講座の受講回数について「1回」と答えた回答は頻度に関わらず「単発講座」として開催回数からは除外した。

◆市民が受講がしやすい講座の開催回数は「4回」が22.7%で最も多い。以下、「6回」(16.8%)、「3回」(11.9%)、「4回」(10.5%)、「12回以上」(10.0%)、「10回」(9.7%)の順となっている。



【受講頻度別の受講回数】

◆受講頻度が高くなると講座の開催回数が増える傾向がみられ、受講回数の少ない「3回」以下においてその傾向が顕著にみられる。



問9 行政と力をあわせてまちづくりを推進することについて、ご意見があればご記入ください。

年代-性別-居住地域	問2 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の目的に「大変関心がある」人
20代-男性-城南地域	行政の担当者の「仕事だから仕方なくやってる」感をなくして自分事にさせてください。
20代-女性-羽衣地域	静岡の魅力が十分に発信されていない。
30代-女性-羽衣地域	自分も市政に参加しているという意識ができて良い。
40代-男性-城東地域	市長が変わる事。
50代-男性-安倍地域	公務員主導では何も出来ない。無駄は省く。
50代-男性-安倍地域	魅力のある具体案の提示。
50代-男性-藁科地域	すでに子供に音楽を教える等活動しているのに認知されていない。シチズンワークポイント（1年×活動＝1ポイント）ですでにやっている人を評価しリーダーとして活躍させて欲しい→老後の活動等に繋げられる。
60代-女性-大里地域	高齢者（60才～）が活動できるようにする活動の場を。
70上-男性-葵 不明	足元を良く見てください。
70上-男性-豊田地域	行政のリーダーシップの実行が先決。
70上-男性-長田地域	健康長寿の土地としてアピールし、人口増加を図る。
70上-男性-庵原地域	行政のしっかりした指導体制が必要。

年代-性別-居住地域	問2 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の目的に「やや関心がある」人
20代-男性-大里地域	サッカーの街静岡として清水エスパルスに特化したまちづくり（新スタジアム建設など）をすれば元気で盛り上がるまちづくりが可能だと思う。
20代-女性-城内地域	静岡駅付近だけではなく、七間町通りの活性化に力を入れて欲しいと思う。
30代-男性-城北地域	響きはよいが具体的なイメージ、目指す方向が分かりませんでした。
30代-男性-安倍地域	先ずは地元企業と取り組んで欲しい。
30代-女性-安倍地域	行政と市民の距離が遠く感じます。メリットを感じません。
30代-女性-長田地域	市民の声が直接届けられるというのは良いと思う。
30代-女性-有度地域	東静岡にサッカー場を移設するような話もありましたが、同じスポーツ施設ならアイススケートリンク併設のスポーツセンターをつくって欲しいです。政令指定都市でリンクのない所は静岡市のみといった話を聞きました。人気のスケボー施設より資金はかなり多いと思いますが近隣の県内外からも多くの人がおとずれて、静岡市にがにぎわうと思います。温暖化で雪や氷にふれる事が少ない静岡っ子的のためにも是非。
30代-女性-住所不明	行政の立場を保ちつつ、一般住民とのかきねを超えたつながりが大切。
40代-男性-城内地域	P T Aの様に負担にならず、やるやらないかが気軽に出来るようにしてもらえればと思います。
40代-男性-大里地域	市民の意見をちゃんと聞くようにしたら良いのでは。
40代-女性-城北地域	市民の声がダイレクトに届く様、交流ミーティング等を開催する。
40代-女性-安倍地域	育児と仕事で忙しくて、今は無理。シニア世代になった時に考えたい。
40代-女性-葵 不明	市民の力が活かされれば良い。
40代-女性-豊田地域	静岡市が良くなるのなら良いと思う。
40代-女性-住所不明	犯罪についての教育をして欲しい。
50代-男性-城東地域	駿府城の再建。
50代-男性-羽衣地域	三保の目に見える経済効果がありますか、内容もない世界遺産はいらぬ。
50代-女性-城内地域	先ずは行政の担当者と一般市民の人間関係を構築する。
50代-女性-安倍地域	コミュニケーションの力が必要。
50代-女性-豊田地域	利害の調整ばかりで魅力的な商業施設が少ない。
50代-女性-羽衣地域	親子で一緒に生活することの大切さを伝えていく。
50代-女性-蒲原地域	住民アンケートなどを行い、何を考え望んでいるのかを幅広い年代の意見として汲み取って欲しい。
50代-女性-住所不明	市民に行き渡る結果報告をする。
60代-男性-城東地域	まちづくりは重要だが生活環境の改善や安全な社会づくりは市政の基本。
60代-男性-藁科地域	学生を活用する。
60代-男性-蒲原地域	高齢になり、思い通りに行かない。
60代-女性-城内地域	御意見箱の設置。
60代-女性-豊田地域	受講者は意欲的に取り組む人が多いので、受講者の声をよく聞くこと。
60代-女性-庵原地域	市民の意見に耳をかたむけて欲しい。
70上-男性-長田地域	行政と地域役員とが協働することが大切。
70上-男性-有度地域	長期的な街作り計画が重要。
70上-女性-城北地域	若い人たちに期待する。
70上-女性-藁科地域	若い世代を呼び寄せられる活動をする。
不明-不明-住所不明	民主的で市民の意識向上にもつながり、良いと思う。

年代-性別-居住地域	問2 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の目的に「あまり関心がない」人
10代-男性-藁科地域	YOUTUBERとコラボして欲しい。
20代-女性-葵 不明	地域の商店街の活性化が先決。
20代-女性-羽衣地域	興味が沸く内容と参加しやすい時間帯。
20代-女性-清水不明	プロジェクトXや情熱大陸のように、まちづくりを積極的にしている人にスポットを当ててテレビでかっこよく放送して欲しい。
30代-男性-長田地域	県と市が協力する。
30代-女性-長田地域	スタジアム含めて、エスパルスの支援をお願いします。
40代-男性-城南地域	無駄をなくして推進して欲しい。
40代-男性-豊田地域	必要だと思うが色々あって難しい。
40代-男性-駿河不明	市民の意見やアイデアを行政はまじめに聞いて欲しい。
40代-男性-羽衣地域	市が考える静岡市の未来が分からない。福祉、教育にもっと力を入れて欲しい。講座にかけるお金があるなら学校教育にもっとお金をかけて欲しい。正しく税金が使われているか調査して欲しい。
40代-女性-安倍地域	清水区だけ学生協がない清水区だけ学童が土曜日にやっていない。何とかして欲しいとの意見がたくさんありますよ。
50代-男性-城南地域	生活していく上で、仕事で忙しく、その様な事に参加できない。
50代-男性-庵原地域	参加したい気持ちはあるが都合がつかない為、遠慮しがち。
50代-女性-城北地域	公園の整備（ランニングとか健康に良い体力づくりができる）。
60代-女性-有度地域	高齢者の運転、学生の自転車を重点的に事故の少ないまちづくり。
60代-女性-有度地域	知識人を発掘すること。
60代-女性-羽衣地域	暮らしていけるだけの収入を確保する。
70上-男性-城東地域	具体的に場所を示し、どこをどんな街にするか協働したい。
70上-男性-藁科地域	何を推進するかが大切。
70上-男性-羽衣地域	目的がはっきりせず、職員の育成に利用されているだけに思える。

年代-性別-居住地域	問2 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の目的に「関心がない」人
40代-男性-羽衣地域	いまいち住民市民と差があると思う。
50代-男性-庵原地域	「葵区以外に目を向けているの？」と感じる。
50代-男性-蒲原地域	行政が市民の意見を聞く姿勢を持つかが問題。
70上-男性-住所不明	まちづくりは頭の良い人達で考えて。このような事ばかりやっていると、新しい犯罪が起きませんか？横領とか、その他色々。
70上-女性-豊田地域	行政主導の姿勢をなくして欲しい。

年代-性別-居住地域	問2 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の目的に無回答の人
20代-男性-安倍地域	できる限り、何に対しても、中立でなければならない。
30代-女性-城北地域	インターネットを活用し、若年層の意見を取り入れることが必要。
30代-女性-城南地域	子供の医療費を無料にして欲しい。
30代-女性-大里地域	いろんなものとコラボして静岡をPRしては。
30代-女性-有度地域	各家庭の生活でいっぱいなので、他の協力はほとんど働いてる人はできないと思う。
40代-男性-長田地域	町並みの国際化。
40代-男性-由比地域	行政が積極的に依頼をする。書類だけでは伝わらない。
40代-女性-葵 不明	参加する人が自発的に能動的に動ける仕組み作り。ボランティアでやっていると、段々と行政に依存し、責任を押し付けてくるようになるため、スタートから能動的にやるんだという、最初の意識形成が大切。そのためには市職員以外にコーディネーターが必要ではないか。
40代-女性-大里地域	子供が安心して公園に行けるように整備したりイベント等をもっとPRして欲しい。
50代-男性-城内地域	まずは財政の健全化。
50代-男性-安倍地域	市民の声を収集するべき。
50代-女性-大里地域	行政は何事につけてもしっかりやって欲しい。
50代-女性-有度地域	ボランティアとしてばかりで無く、生活の糧につながる方法を講義して欲しい。
50代-女性-清水不明	都市基盤の整備。
60代-男性-城内地域	静岡市がどのようなまちづくりをめざしているのかわかりません。
60代-男性-葵 不明	情報を集めるばかりではなく、フィードバックが大切。
60代-男性-庵原地域	地域のリーダーを養成していくことは行政の得意な所。若者から老人までたくさんのリーダーを作ってください。
60代-男性-庵原地域	安心安全な生活環境の創設。
60代-女性-藁科地域	余裕がないので色々参加できない。
60代-女性-羽衣地域	観光で初めて来た人にとって決して親切といえない 案内やお茶サービスなど細かな心づかいでリピーターを増やして行けると思う。
70上-男性-城内地域	天守台の再現保存など市民にとってロマンのある事業をまちづくりのシンボルとして重点的に進めたらどうか。また、〇〇協議会、〇〇モニターなど数多くあるが彼らが提案した事例をどう活用したのか広報で知らせて欲しい。
70上-男性-安倍地域	議員の視察で必ず報告会を開き市民と論じ静岡市にない物を作って行く。
70上-男性-庵原地域	高齢者施設(有料老人ホーム)仕事に従事しているため、予定が分からない。
70上-男性-羽衣地域	町全体の活性化。
70上-女性-駿河不明	目的と目標が定まっていなくてわかりやすすくないと興味や関心が向かない。
70上-女性-蒲原地域	関心のある者だけが情報を得られている傾向がある。
不明-不明-住所不明	行政の方の熱い姿勢と人柄と知識。